

別紙

イニケニ及切り山崩しを悪ラツ及威かつき

因結の威力で粉砕しる川川

検査係の諸君一、會社の手先になつて伊藤君の首切りを合理化し、古程古文は諸君の反對を極度に恐れてゐる諸君の氣嫌を以て一日社氣はくたつてアツを飛出しく廻つてゐる。だが諸君一、暴力で留置場に入れたら不当な職首をされた同志伊藤君のうめを考へる時、恐らく諸君は黙つてゐる。れないだらう。諸君の怒りは巨象、憤怒たえり燦じ、極暴な會社を徹底的にマツケり、芝浦の倉庫の兄弟一、横山君始め六名を首切りをこれに及対した諸君の運動を押し潰さうと制服を職場に張り込ませた會社はそれ未だに細い、古は野郎を使つて分まうと今日には説教したえう、た、二人は犬は今度来たう追ひ帰してやれ一、修繕工場は同志諸君川川昨年の六月の争議で諸君の力に驚いてゐる會社は一生懸命に切り崩しをタラウこむるを、して諸君の因結の力の弱くなるのを待つて首切り債銀値下、労働時間、定、きやぶとネラツテゐる二人なあい給料を三十合しかない晝休みでこの上待てを悪くされたり首を切られてたまふものか

伊藤君外七名の首切りを取消せ

待遇は即時に良くしろ

昭和三年七月十日

園電芝浦分會

歎 願 書

此度伊藤俊夫君ノ突然ノ解職言渡ニ就テ私共一同永年同シ様ニ働イテ居タ情ニ於テモ亦君ノ一身上及家庭ノ事情ニ考ヘテモ是非共解職ヲ取消シ下サル様偏ニ御願申上マス。

昭和三年七月十九日

東京電燈株式會社規畫課検査係一同

東京電燈株式會社長

若尾 璋 八 殿

- 小島 重雄
- 况王 恒吉
- 郡司 源次郎
- 日野 仲次郎
- 恒泰 操
- 高橋 巳之作